平成25年度 実施計画・事務事業評価(事後評価)シート

実施計画

基本事項

_													
	部等名	教育部		課等名		教育支所 学習室	言	記入者名		野平 豊徳		内線	422
	事務事業名	成人教育充实				事業期	間	平成	24	年度	~ 平	成 24	年度
糸	総合計画上の 位置付け	基本方針	歴史と文	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり									
			社会教育の充実										
		細 施 策	成人教育の充実										
根拠法令・条例、関連計画等													
	予算細々目名	各				会	計	款	項	目	細目		
	高尾野地域(鶴亀大学開催経費)						01	10	06	01	16		

事務事業の目的(何のためにするのですか)

- ①健康で生きがいのある生活を送るために、高齢者にふさわしい教養を地域で学び、進んで住みよい社会をつく
- る。 ②高齢者としての多様な学習活動を通して、心豊かな人生を送るために、地域で人々との心の触れ合いを通して、 相互の親睦に努める。
- ③これまでの豊富な経験や体験および知恵・技能を地域に還元し、青少年の健全育成に努める。

事務事業の概要

1 100 1 7/4 1 1/4 1	-	v.	v.
H24年度の事業概要	H25年度の 事業概要・計画	H26年度の事業計画	H27年度の事業計画
年13回実施 (内2回は開閉講式、内1 回は小学生との交流会) 午前9時から全体会 午前10時30分から11 時50分まで趣味専門コース(クラブ活動) 6講座 97人参加	年13回実施 (内2回は開閉講式、内1 回は小学生との交流会) 午前9時から全体会 午前10時30分から11 時50分まで趣味専門コース(クラブ活動) 6講座 102人参加	平成25年度事業の継続	平成26年度事業の継続

事務事業の対象・手段・意図

対象(誰・何に対して行う事業ですか)	手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)
6 5歳以上の市民	4月開講式、5~2月まで各講座、10月研修旅行、11月に小学生との交流、3月閉講式。 全体会での講演会、クラブ活動での趣味の充実を図る。 クラブは、生活・書道・レクダンス・舞踊・グラウンドゴルフ・生花がある。
意図(活動により対象をどのような状	態にしたいのですか)
健康増進と生きがいづくり	

事務事業評価(事後評価) 1 指標の推移

区分	分	指	標	名	単位	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標	年度 年度	旅 目標 個 目標値
期	1	鶴亀	大学開催	巨数	回	13	13	13	13		
指標	2										
成果	1	鶴亀	大学学	生数	人	97	102	110	110		
岩	2		大学参加 延べ人数		人	864	900	900	900		

2	<i>]</i>	/曲

					□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
2		※ <i>評</i>			票・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など) <i>価</i>				
有穷					川山 又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか				
			な		理由				
			あ	る	事業の広報や、現在学生である方に友人を勧誘していただく等、学生数の増加に努める。				
	効性	J	廃止	· 休	止した場合の影響はありますか				
	1_1_		あ	る	理由				
			な	٧١	高齢者同士のふれあいの場がなくなり、孤立する高齢者が出てくる。				
			成果	指標	を下げずにコスト削減の余地はないですか がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)				
			な	1	理由				
			あ	る	コスト削減のためには予算の9割を占める講師謝金を削減するほかないが、それは講座数の減につ ながり学生数の減となるため、成果目標を下げずにコスト削減の余地はない。				
	効	2	類似		の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)				
			な	٧.	理由				
	性	性 類似事業として、出水地域では人生大学、野田地域では高齢者大学を別に実施している の研修場所までの交通手段の面や高齢者の人数等を考えた時に、現在のままが望ましい							
		•	市と		者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)				
			は	۷,	理由 				
		_	いい	、、、、	本事業には該当しない。				
	そ	,	他の	市町	村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)				
	σ	高	齢者	の健	康増進、生きがいづくりとして、他市町でも行われている。				
3		分	後	の方	· 向性、改善案等(一次評価)				
					生(総合評価) 方向性の理由、改善案等				
					■ 現行のまま継続 継続 か □ 廃止・休止 今後、ますますの高齢化社会を迎えるにあたって、独居老人の引きこも り等を防止するためにも、高齢者同士のふれあいの場である鶴亀大学に ついては継続していきたい。				
1					·向性、改善案等(二次評価)				
	!	今後	後のフ	方向性	生(総合評価) 方向性の理由、改善案等				
			改善		■ 現行のまま継続 継続				
5					<i>向性、改善案等(最終評価)</i>				
					生(総合評価) 方向性の理由、改善案等 ニューニーニーニーニーニー				
			改善	きして	■ 現行のまま継続 :継続 二次評価と同様に現行のまま継続とする。 :小 □ 廃止・休止				